

番号	委員名	提出された意見		計画案の修正について		
		主な分類	内容	対応	記載内容等	該当ページ
1	秋月恭子	(1) コロナウイルス感染症について	新型コロナウイルスなどの感染症に対する危機意識・対策を追加してはどうか	追加する	基本構想に序文を設け、「本計画の策定作業がコロナウイルス感染症拡大の状況下で行われていること、構想・計画の前提が大幅に変化し、その変化に対応することが喫緊の課題として浮上していること」などを記載します。 また、基本構想及び基本計画の他のページにおいても、主要課題としての認識を記載するとともに、今回の危機対応の経験・検証を踏まえ、具体的な取組についても記載します。	序文 10 34 36 39 47 48 51 53 182 など
2		(1) コロナウイルス感染症について	新型コロナウイルス感染症終息後の検証を加えてはどうか			
3		(2) 将来都市像について	「人が輝く」という文言より、新居浜に住んでよかったと思える、新居浜に住んでいて心地よい、新居浜の魅力が実感できるとか、他市から嫁いできた私には、この地域は他市から来た人に優しく、受け入れてくれやすい市民性があると思っている。	修正・加筆する (説明文)	「人が輝く」の「人」には、ずっと新居浜に住んでいる人、移住してきた人、Uターンしてきた人、全てが含まれることを加筆します。「他市から来た人を優しく受け入れる市民性がある」という点についても説明文に加えします。	42
4		(2) 将来都市像について	「あかがねのまち」について、あかがねって何？とほとんどの市民は思っているのではないのでしょうか。もっと分かりやすくいいと思います。		あかがね＝銅ということをかかわらない市民が多いという意見を踏まえ、「あかがね」についての注釈を加えます。「あかがねのまち」は第五次長期総合計画でも将来都市像として使用しているキーワードであり、次期長期でも継承したいと考えております。	22 42
5		(2) 将来都市像について	「人が輝く」の説明文 3 行目。子どもからお年寄りまで、このまちで自分の力を活かすことが出来る、誰もがまちづくりに参加できる強みを表現できないでしょうか。		誰もが自分の力を活かすことが出来、まちづくりに参加することができるまち、誰もが生涯活躍できるまちであることを説明に加えます。	42
6	有村智代	(3) まちづくりの目標について	まちづくりの目標 1 健やかに育つ子どもが未来に輝くまちづくり (→ 受け身の印象 子どもは勝手に育っていくような) これからの時代、今ある問題に注目するだけでなく、0 から新しい問題を掘り起こすことが必要になると思う。そのためには、具体的な表現をした方が良いのでは。 例：未来を創り出す子どもが育つまちづくり 未来を創り出す子どもを育てるまちづくり	修正する	担当部局・専門部会等に相談し、まちづくりの目標名を変更することとしました。 変更後「未来を創り出す子どもが育つまちづくり」	46 ほか
7		(3) まちづくりの目標について	まちづくりの目標 5 人と地域の力で豊かな心を育み、生きがいあふれるまちづくり 多様性を受け入れるためには、常に学び続けることが重要と考えると「生きがい」というふわっとした言葉よりも、より具体的な、学びの場が提供できることを入れた方がよい。	修正する	担当部局・専門部会等に相談し、まちづくりの目標名を変更することとしました。(「生きがい」にかわる表現を検討しました。) 変更後「人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり」	46 ほか
8		(4) 読みやすくするための工夫について	49ページ～ それぞれの目標と計画の・・・柱ごとの施策 現時点でのイメージでは、文章が中心となっている。数字で表すことができる部分については、具体的な数値目標を入れていくとわかりやすいと思った。	対応済	64ページにまちづくりの目標ごとの主な数値目標（成果指標）をまとめて記載しています。 また、基本構想の後ろに来る「基本計画部分」は、施策・基本計画ごとに数値目標を設定し、記載いたします。	64 ほか
9		(1) コロナウイルス感染症について	コロナ前とコロナ後では、世界の人の生活も大きく変わったと思います。産業の成長は絶対ではないし、雇用さえも危ぶまれています。市民の生活を守り、安心して暮らせるまちが、これまで以上に求められると思います。	追加する	意見番号 1、2 の記載内容と同様 また、「将来都市像」には「豊かな心」というキーワードを含めており、有村委員のご意見の趣旨に沿ったものと考えております。	序文 10 34 36 39 47 48 51 53 182 など
10		(6) 個別事業について	I ターンやUターン誘致のために多額のコストをかけるだけでなく、今、住んでいる市民の満足度や生活のしやすさをボトムアップしていけば、近隣からの移転や、関係人口も増えるのではないかと。	対応済	まちづくりの目標（分野）及び施策ごとに、住民満足度（市民アンケート）を継続的に計測していきます。 それらの「市民の満足度」や「生活のしやすさ」への評価の経年変化を見ながら、ボトムアップのための各種施策を検討・実施いたします。 また、「関係人口」については、第 2 期総合戦略（令和 2 年度～）における重要な視点であり、次期長期総合計画においても意識している指標であり、基本計画（施策 7 - 5）の中に明記いたします。	13 14 186 など
11		(6) 個別事業について	他県や他市の長期計画を見ていると、写真をふんだんに取り入れ、具体的な数値目標をわかりやすく配置していました。たくさんの方に読んでほしい、自分にも何かできるものはないかと思わせるようなきっかけ作りになるような計画書になるとよい。	対応済	「基本計画部分」には施策ごとに事業の数値目標を掲載します。また、長期総合計画の最終的なレイアウトには写真やイラストを多用し、読みやすい冊子を目指すほか、概要版はマンガを中心に作成し、広く市民の皆さんに配布します。 今回作成する次期長期総合計画を見た市民の皆さんが新居浜市の将来に希望を抱けるような計画書を目指します。	

番号	委員名	提出された意見		計画案の修正について		
		主な分類	内容	対応	記載内容等	該当ページ
12	小野正師	(4) 読みやすくするための工夫について	全体量が多く、総花的・抽象的で理解しにくく目を通すだけでも大変。64ページ「10年後のまちの姿」には、具体的な数値目標を設定し、そのために何をすべきか、何をどうするのか具体的な検討をなされたい。	修正なし	ご意見を踏まえ、可能な限り、ポイントを絞った記載とするよう、全体の校正を行いました。 また、「10年後のまちの姿」がイメージできるよう具体的な数値目標を基本構想、基本計画に明記いたしました。 また、具体的な施策（何をどうするのか）については、主に基本計画部分に記載しており、この内容については、昨年来、政策懇談会ワーキンググループ等において議論いただき、（案）を作成しております。	64 ほか
13		(4) 読みやすくするための工夫について	10年後の新居浜市のイメージがビジュアル化され、例えば子どもや若者の視点から絵画や簡単な映像にまとめられ、見ただけでも住みたくなる未来の新居浜市が描けないか	修正なし	概要版についてはマンガを中心に作成する予定であり、10年後の新居浜市をイメージできるような要素（ストーリー等）も取り入れていきたいと考えています。 また小学生の絵画（未来の新居浜をイメージしてもらおう）も広く募集する予定であり、一部の作品については、冊子中に掲載したいと考えています。	-
14		(1) コロナウイルス感染症について	このコロナ混乱状態を見ると、時代は間違いなく行き過ぎた経済優先から本来の人間らしい生き方とは何かを再考し、地球環境も含めた全体の幸福追求をしないといけないのではないかと思う。物（お金）と心（優しさや思いやり、ボランティア等）のバランスを考えた、この地方にこそ理想的なまちづくり、人づくりができるのではないだろうか。	追加する	意見番号1、2の記載内容と同様 また、「将来都市像」中にも「豊かな心」というキーワードを含めておりますが、小野委員のご意見の趣旨に沿ったものと考えております。	42 ほか
15	近藤智佳	(4) 読みやすくするための工夫について	言葉が優しく、親しみやすい様々な立場の人が読める冊子になっていると思いました。	修正なし	さらに読みやすくなるよう校正を行ってまいります。	-
16		(4) 読みやすくするための工夫について	色使いが落ち着いていていいと感じました	修正なし	色を多用しすぎると、ポイントがわかりにくくなりますので、ベース色を中心に、メリハリのある色使いを心掛けます。	-
17		(7) SDGsについて	6ページのSDGsについての記述がシンプルでわかりやすく、馴染みのない方の目を引くと思いました。	修正なし	SDGsについての説明、本市がSDGsを意識し取り組む意義、各施策との関連について、よりわかりやすくなるよう、記載を工夫してまいります。	6
18		(4) 読みやすくするための工夫について	8～10ページについて、「少産化・晩婚化・・・」「アジア諸国の・・・」「society5.0・・・」「地球温暖化・・・」「振り込み詐欺など・・・」でそれぞれ始まる四角の囲みについて小さくタイトルをつけてはいかがでしょうか。キーワードが並んでいるのですが、上の四角の囲みとの繋がりがわかりにくく感じます。	修正する	指摘を踏まえ、繋がりをわかりやすくするため、レイアウトを変更いたしました。また、次のようなタイトルを追加しました。 【「〇〇」の主な原因や関連するキーワード】	8 9 10
19		(4) 読みやすくするための工夫について	42ページの将来像で新居浜市が進みたい方向を示している点が良いと感じました。ただ、「豊かな心で幸せつむぐ」の説明文が長いので、読み慣れない人には理解が難しい。	修正する	指摘を踏まえ、文量を減らし、短く区切って、読みやすくなるよう修正いたしました。	42

番号	委員名	提出された意見		計画案の修正について		
		主な分類	内容	対応	記載内容等	該当ページ
20	東淵則之	(4) 読みやすくするための工夫について	3ページ 「ローリング方式」がわかりにくいので補足があった方がいい、	修正する	ローリング方式の説明文を挿入しました。	3
21		(1) コロナウイルス感染症について	今般の新型コロナによる危機は、今後新たに出現する感染症も自然災害と捉えて、どこかに追加しておく必要があると思います。地震、風水害と同様にBCP作成など、普段からの取組が求められると思います。	項目を追加する	意見番号 1、2 の記載内容と同様	序文 10 34 36 39 47 48 51 53 182 など
22		(5) 文言・数値等の確認・修正について	30ページ ○販売農家 1 農家当たり（ここだけ「た」が入っている） ○一部、人口一人当たり、人口千人当たりの数値が出ているものもありますが、多くの指標が人口規模の大小によって影響を受けるので、そのまま比較するのではなく、総人口で割り戻して、人口当たりの数値にして比較すべき。そうすると数値も変わってくる。	修正する（一部）	○全体を通じ、「当たり」に統一しました。 ○次の 3 点から、すべての項目を「人口 1 人当たり」「人口千人当たり」に修正することはしないことといたしました。 ・新居浜市は類似都市の中で、人口・製造品出荷額ともにグループの平均値に近く、そのまま比較しても評価に大きな差はありませんでした。（指摘を踏まえ、類似都市の人口規模、製造品出荷額、それぞれの平均値も記載し、本市がグループの中で平均的な位置付けであることがわかるようにしました。） ・工場数と工場従業員数等について、人口千人当たりの数値で再試算しましたが、その結果は実数とあまり変わらないことがわかりました。 ・すべての項目を人口一人当たり、千人当たりで修正する場合、項目を並べた際に、内容が理解しにくくなるを考えました。また、市全体の数値（規模感）を把握したい項目もあり、以上のことからすべての項目を修正することはいたしません。	30
23		(4) 読みやすくするための工夫について	31ページ 就労状況の「労働力人口」の定義も、注として加えた方がわかりやすい。	修正する	「労働力人口」について注釈を加えました。	31
24		(5) 文言・数値等の確認・修正について	42ページ説明文 人生において働く時間はとても長い重要です。働くことを通じて人は輝きます。そこで、「働きがいのある職場づくり」を進めることで……とする	修正する	提案のとおり、「働きがいのある職場づくり」を加え、修正しました。	42
25		(8) その他	43ページ グラフにあえて加筆する必要はないが、生産年齢人口の減少が問題である旨、どこかに加筆しておくことが望ましい。令和22年ごろは高齢化率がM A X 近辺になると予想されていると思う。仮に101,633人を上回ることができても、高齢化率が非常に高くなり、生産年齢人口（数）が少なければ、生産年齢人口の人たちの負担が大きくなりすぎて、地域社会を維持すること自体難しくなると思われる。そのため、少子化対策と並んで、意識して生産年齢人口を増やす工夫も必要かと思う。	修正する	ご指摘のとおり、生産年齢人口の減少が特に問題であることを36ページ「人口減少、超高齢化社会への対応」に追記いたしました。（人口推計のグラフを再作成し、簡潔にしました。） また、24ページに、年齢別人口の推移のグラフと合わせ、年齢層別の人口推移もあわせて記載し、生産年齢人口の減少のインパクトが感覚的にわかるよう工夫しました。 それに対応する施策については、重点プロジェクトである「総合戦略」に基づく取組として、様々な施策を講じてまいります。	24 36 43
26		(8) その他	全般的に将来環境の予測があまり反映されていないと感じる。情報技術ひとつとっても、その進化は目を見張るものがある。確実にICT、AI、自動運転など進化は、社会インフラや暮らしを大きく変えていく。今後、どのような技術発展が起こっていくかを予測することは困難でしょうが、それでも、現在の延長線上に未来像を控えめにでも描いたうえで、それを活かすことを前提に、第2章は記述したほうが良い。	修正する	指摘のとおり、想定しうる10年間の変化、方向性について、第2章47ページ以降のまちづくりごとの概要に加筆しました。（時代の潮流8～10ページに記載した具体的なワード、トレンドを可能な範囲で文中に加えていきました。）	8 9 10 47～58
27		(5) 文言・数値等の確認・修正について	「生産性向上への取組を支援します」「起業、新事業が生まれる基盤強化に努めます」「働きがいのある職場づくりを支援します」の3つを挿入、追加してはどうか。	追加する	提案のあった3つの取組については、文中に追加・記載しました。	51
28		(5) 文言・数値等の確認・修正について	施策5-1 学習活動の充実 ここに、「遠隔授業や動画配信による学びや交流の機会を増やします」を追加してはどうか	修正する	基本計画5-1 学習活動の充実の中で、「遠隔授業や動画配信などによる学びや交流の機会の充実」を記載します。	55
29		(5) 文言・数値等の確認・修正について	施策3-8として、「新規事業の創出や起業の促進」を追加してはどうかでしょうか。新たな雇用の場を生み出すには、新規事業や起業の促進が有効ですし、そのような志向を持った人が多くいることが活力を生むと思います。	修正する	ご指摘のとおりと考えます。主に、施策3-1 工業の振興に包含される内容と考えられるため、1本の施策としては別出しはせず、施策3-1 工業の振興の中で「新規事業の創出や起業の促進」についても記載します。	51
30		(8) その他	市民意向調査では、「満足度」を聴かれているようですが、「重要度」も聴くようにされてはどうか。例えば、「教育・文化」に対する満足度は19.1%、「保健福祉」に対する満足度は26.4%となっています。ここから、市民は、今後は「保健福祉」よりも「教育文化」に力を入れてもらいたいと考えているわけではありません。なぜなら、市民にとって重要度が違うからです。重要度と満足度のそれぞれの平均値で縦軸、横軸を引くと、4つの象限に分けられます。重要度が高く、満足度が低い右下の事項を、優先的に改善していくことが望まれます。	修正する	意向調査では、「満足度」だけでなく「重要度」についても調査しています。今回、計画には「ポイントを縛って」アンケート結果をまとめようと考え、「重要度」については記載を省略しておりました。ご指摘のとおり、重要度が高く、満足度が低い右下の事項を、優先的に改善していくことが望まれ、計画の中で、その項目を示すことで、今後10年で注力すべき分野が明らかになると考えられることから、提案いただいた分析方法・結果についても記載いたします。	14

番号	委員名	提出された意見		計画案の修正について		
		主な分類	内容	対応	記載内容等	該当ページ
31	早瀬伸樹	(4) 読みやすくするための工夫について	基本構想 5ページ 個別計画との関係を示す図の中にある個別計画の「子育て」、「健康」、「防災」・・・と新居浜市都市計画マスタープラン、新居浜市公共施設再編計画の関係がわかりにくいように思いました。図中にあるのは矢印でしょうか？	修正する	ご指摘のとおり、図中の個別計画と行政分野の関係がわかりにくいと考えられるため、図を変更しました。	5
32		(7) SDGsについて	基本構想 6ページ 17の国際目標と本計画の施策体系との対応を整理し、本計画をとりまとめることとしました。」とありますが、その整理した結果が示されていないように思います。整理した結果があれば、示しておいた方が良いのではないかと思います。示すのが難しいようであれば、表現を工夫する必要があるのではないかと思います。例えば、SDGsと長期総合計画の施策との関連を幾つか例示しても良いのではないかと思います。	修正する	ご指摘のとおり、6ページに次の文を追加しました。 「各施策との対応表は基本計画（62.63ページ）に記載しています」	6 62 63
33		(5) 文言・数値等の確認・修正について	基本構想 7ページ 時代の潮流について → 時代の潮流について	修正する	修正いたしました。	7
34		(8) その他	基本構想 27ページ 8行 第2次産業就業者比率が類似都市より低い水準となっていますが、23ページの産業別就業者比率（全国平均と比較）の動向では第2次産業のウエイトが目立って高くなっているという説明になっています。類似都市との比較と国全体との比較による違いと理解してよろしいのでしょうか。	修正なし	お見込みのとおりです。全国平均と比較すると第2次産業のウエイトが高くなっていますが、類似団体と比較すると、逆に比率は低くなっています。 類似団体間で比較することにより、全国平均との比較では見えてこないデータが見えるというメリットがあると考えています。	27 30
35		(4) 読みやすくするための工夫について	基本構想 43ページ 「新居浜市における人口の将来展望」において、社人研準拠(H27時点)と社人研準拠(H31時点)のグラフの傾きの違いについて説明が無いので、簡単に説明された方が良いのではないかと思います。	修正する	東澁委員長からの意見も踏まえ、グラフをわかりやすくするため、最新の社人研推計（H31時点）のグラフと新居浜市の独自推計のグラフの2本のみ記載することといたしました。また、市独自推計の精算根拠（前提条件）についてもあわせて記載しました。	43
36		(4) 読みやすくするための工夫について	基本構想 46ページ タイトルの「6つのまちづくりの目標と計画の推進の7つの柱ごとの施策」の表現がわかりにくいように思います。例えば「6つのまちづくりの目標に計画の推進を加えた7つの柱ごとの施策」というように変更してはいかがでしょうか。「7つの柱」という表現が良いのか、シンプルに「7つの分野」が良いのかご検討いただければと思います。60ページでは、「分野別の計画」という表現になっています。	修正する	ご指摘のとおり、わかりやすくするため、「6つのまちづくりの目標に計画の推進を加えた7つの柱ごとの施策」とした方がわかりやすいと考えられるため、変更いたします。	46
37		(4) 読みやすくするための工夫について	基本構想 59ページ 「重点プロジェクト(総合戦略の4つの柱)」という表現は、「それに計画の推進を加えた7つの柱から構成します。」(2行目)という柱という言葉を使用しているので、「重点プロジェクト(総合戦略の4つの基本目標)」の方が混乱しないように思います。	修正する	ご指摘のとおり、混同することがないよう「重点プロジェクト(総合戦略の4つの基本目標)」と修正します。 また、体系図のデザインも変更します。	59
38		(4) 読みやすくするための工夫について	基本構想 43ページ 目標値設定の根拠について説明できるようにしておくことが必要であるように思います。目標人口は108,608人と記載されていますが、64ページの将来人口は111,000人となっています。	修正済	東澁委員長からの意見も踏まえ、グラフをわかりやすくするため、最新の社人研推計のグラフと新居浜市の独自推計のグラフの2本のみ記載することといたしました。また、市独自推計の根拠（前提条件）についてもあわせて記載しました。 今回設定した目標人口（111,000人）の設定根拠（最新の社人研推計を上回る水準）についても記載しました。	43

番号	委員名	提出された意見		計画案の修正について		
		主な分類	内容	対応	記載内容等	該当ページ
39	福井秀樹	(2) 将来都市像について	<p>基本構想 42、46、59ページ</p> <p>「将来都市像」（37ページ）と「まちづくりの目標」（41ページ）および「重点プロジェクト」（57ページ）のつながりが、少々わかりにくいと感じます。</p> <p>具体的には、まちのアイデンティティとして「あかがねのまち」を掲げていらっしゃるわけですが、「まちづくりの目標」および「重点プロジェクト」ではそれが十分に表に出ていないように思われます。つまり、「あかがねのまち」としての新居浜の魅力を高めるまちづくりの核となる「目標」「重点プロジェクト」が何なのかわかりにくいと感じます。</p> <p>複数の目標を並列させざるを得ない事情は理解できますけれども、核となる目標は一つに定め、それと他の目標が相互に補完・補強し合うという形で提示する方が、読み手（＝市民）にはわかりやすいのではないかと推察いたします。</p> <p>課題としては「人口減少、超高齢社会への対応」が中心とされていますので、「目標」「重点プロジェクト」もそれに最も直接的に対応するものを中心に据えてはいかがでしょうか。例えば、まちづくりの目標の「目標1」と重点プロジェクトの「基本目標3」が中心課題である「人口減少、超高齢社会への対応」に直接対応するもの一つに見えますが、これらを中心に据えて図を描くことはできないでしょうか。</p>	修正する	<p>重点プロジェクトである「総合戦略」のスローガンは「住みたい、住み続けたい、あかがねのまちを目指して」であり、「あかがねのまち」は長期総合計画、総合戦略、共通の都市イメージです。</p> <p>ご指摘のとおり、59ページの標記ではそのことが伝わらず、一貫性がないように感じられますので、標記を修正し、長期総合計画、総合戦略ともに「あかがねのまち」がまちのアイデンティティであることがわかるよう、将来都市像の説明文等も修正・加筆します。</p> <p>それにあわせ、総合戦略（重点プロジェクト）の具体的な事業が、どのまちづくりの目標のどの施策と対応しているか、一覧表（対応表）を作成し、全体のコンセプト（目指すまち＝あかがねのまち）を感じてもらえるようにします。</p> <p>また、ご提案のまちづくりの目標 1～6 の優先順、特に重要なもの（核）を一つに定めることは確かに、計画にメリハリがつき、わかりやすくなりますが、すべての行政分野・まちづくりの目標が「人口減少・超高齢社会への対応」に関連しており、市として、まちづくりの目標の優先順位をつけることはできないと考えているため、現状の並列した形とします。</p>	42 46 59
40		(8) その他	<p>基本構想 37ページ</p> <p>上記に関するのですが、「あかがねのまち」の精神、という表現が、若干抽象的であるため、都市像として具体的な姿を思い描きにくいように感じます。</p> <p>新居浜市民でないための問題かもしれませんが、別子銅山という歴史的遺産を中心とするまちづくり、ということであれば、まちづくりの目標・プロジェクト等で別子銅山をもっと大きく扱ってもよいのでは、という気がいたしました。</p> <p>全く知らないもので伺いたいのですが、他の銅山都市との連携・協働したプロジェクトなどはないのでしょうか。</p> <p>あるいは、銅を中心に据えたまちおこしプロジェクトのようなものはないのでしょうか。全くの思いつきですが、銅版画家に一定期間、新居浜に住んでいただき、新居浜の魅力的な風景などを銅版画にさせていただき、といったアーティスト・イン・レジデンスなど、あつたら面白いな、と個人的には思っています。松山でそういうことをしてくれたらいいのに、とも思います。</p>	修正する	<p>ご指摘のとおり、一部市民のみなさん、市外の方にとって、「あかがねのまち」という表現は若干抽象的であり、具体的なイメージがもたれにくいかもしれません。将来都市像についての掲載ページ（42ページ）において説明文を入れていますが、（銅＝あかがね）と結びつかない方も多いため、もう少し市外の方にも伝わる表現とし、注釈も記載します。</p> <p>6つのまちづくりの目標は、市民目線で見たときに、行政分野がわかりやすくイメージしてもらうことを意図して、目標名を決定しています。別子銅山の固有名称を目標名とはしていませんが、別子銅山や産業遺産に関連する施策やプロジェクトについては、まちづくりの目標の中にぶら下がる「施策」の中で具体的な取組方針、取組内容を記載します。</p> <p>他の銅山都市との連携、協働したプロジェクトについては、これまでも具体的な取組があり、次期長期総合計画においても、施策 5－4「近代化産業遺産の保存活用・整備の充実」の中で取組を記載しております。またアーティストインレジデンスについての提案についても、施策 7－5「人口減少対策とシティブランド戦略の推進」の中で、移住・定住の促進策の一つとして、関係部課と検討してまいります。</p>	22 42 148 149 186 187
41		(8) その他	<p>基本構想 11ページ～アンケート等についてです。「人口減少」という課題への対応を考えるには、新居浜市に関心を持ってくださる方を増やす、つまり、移住人口、交流人口、関係人口等を増やす必要があると思います。そうであるとしたら、移住者、地域おこし協力隊の方等、新居浜市に積極的に価値や良さを見いだしてくださっている方へのアンケートやインタビューも、今後の施策を考える上で有益なのではないか、と思います。</p> <p>あるいは、徹底的に女性に優しい、子育て世帯に優しいまちづくりをする、という方向で進むのであれば、女性、子育て世帯に特化したアンケートがあってもよいと思います。</p>	修正する	<p>指摘のとおりと考えております。本市では、「本市出身者」「Uターン者」「移住者」それぞれの目線でみた本市の良いところ、悪いところを分析するために実施した、「都市イメージに関するアンケート調査」、子育て世代の意見を聞くために実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」もそれぞれ、近年実施しておりますので、その結果のポイントについても、分析し、追加で記載いたします。</p>	11～21